

思いを込めて 鮮やかに

百人染め
体験講座



▲型紙を使って染める

▶ナスと内藤とうがらし



「染の小道」(2月)で反物が妙正寺川に

2月に新宿区落合・中井地区で行われるイベント「染めの小道」に先立ち、昨年11月、反物を染める「百人染め」体験講座がささえーる中落合で開催されました。

落合・中井地区を流れる妙正寺川は、水量豊かで染色に必要な水洗いに適した場所だったため、この地区は昭和30年代には300軒を超える染色業者で栄えていました。「染の小道」は染色の伝統を再び発信し、染色を通して地元を盛り上げることを目指しています。今年は2月21日(金)から23日(日)まで、妙正寺川の川面に反物を張る「川のギャラリー」、商店街店舗の軒先に作家が制作した「のれん」を展示する「道のギャラリー」が繰り広げられます。

体験講座は「川のギャラリー」の作品を作ることが目的です。図柄に合わせて作った型紙を使って、一反に近い長さ(約10メートル)の白い布に染めていきました。均一な絵柄を染める型染という技法は合理的で、一つの絵柄をたくさん染めることができます。

老若男女、大人はもちろん小さなお子さんも好きな型紙を選び、思い思いの色に染めていました。日本に住む外国人のカップルは日本の文化の一端に触れ、自分で染めた作品に満足そうでした。華やかに彩られた反物が妙正寺川にかかる日が楽しみです。

薬王寺タイムズ

記事・藤田禮子

写真・荒畑フサ江、藤田禮子